

# 海清

## 第24号

1992年 6月10日発行

社会福祉法人 友愛会

大島保育所

大島福祉学園

友愛園

南川福祉学園

題字 理事長 角野元保



春です 桜のじゅうたんで!! (大島保育所)

ひこうきぐも

おさんぽで

ひこうきぐもを

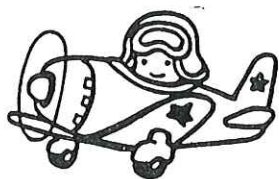
みつけたよ

あのあおいそらに

ぼくたちも

らくがきしたいなあ

(大島保育所)





## 特集

## 南川福祉学園の四季

## —— 子どもたちも生き生きと ——

春には街のそこそこに、薄桃色のやさしい花が咲き、夏には青い海に色とりどりのパラソルが咲く。秋には公園のベンチに、赤く染まった木の葉が舞い、冬には道行く人々の肩に、ひそやかに白い雪が舞い降りる。

日本の四季それぞれに色や形があるように、我が南川福祉学園の生活にも、四季それぞれの色や形があります。泣いたり笑ったり怒ったり……入所児も職員もいっしょになって、精一杯自分をぶつけあう日々の暮らしには、いろいろな苦しみと共に不思議な感動があり、生きている実感を生み出してくれます。学園の子どもたちの、四季の表情をここに紹介します。

新しい年が  
始まる季節

学園前の坂道に、地域一番の桜の花がほころび始め、道行く人達が目を細めながら眺めやると、学園の生活も、過ぎ去った一年の締め括りと新しく始まる一年の準備で、急にあわただしくなります。

一年の締め括りの中には、いくつかのたびだちにまつわる別れがあり、学園全体に希望と淋しさの

入り混った不思議な雰囲気漂わせます。子どもには、学園を退園して社会復帰するケース、他の施設へかわっていくケース、高等部へ進学するケースなどがあり、職員には、いろいろな事情で退職するケースがあって、その都度お別れ会が開かれます。妙に張りつめた雰囲気の中、日頃あまり感情を表に出さない子が、突然大粒の涙をポロポロこぼしたりするのを見ると、一瞬我に返り、想像以上に豊かな感情をもつ心やさしい子どもに、囲まれて暮らしている幸せをしみじみ感じます。

一年の準備の中には、いくつかの出逢いにまつわる喜びがあり、学園全体に活気を漲らせます。四月から採用された新職員も含め、ホームや訓練班に始まるいろいろな活動グループのメンバーが、新しく組み替えられます。日頃住み慣れた学園も、この時ばかりは新鮮に感じるようで、子どもたちの

言動すべてが生き生きと輝いてみえます。穏やかな風にのり、学園の新しい年が始まる季節です。

遊び・作業  
一番健康的な季節

吸い込まれそうな紺碧の空の下、学園前の国道を、県外車の賑やかな爆音が列をなして通り過ぎて行く頃になると、学園生活も夏真っ盛り。子どもたちの服装が、長袖から半袖にかわり、ズボンがスカートやショートパンツにかわり、学園の雰囲気も一気に明るくなり、言い知れぬ開放感が広がります。

夏一番の人気は、何と言っても「プール遊び」。昨年の夏にでっかいプールを買ってもらってからは、一層人気が高まり、毎日のように軽快で涼し気な水しぶきの音と、元気なはしゃぎ声が聞こえてきます。また、作業に関しても楽しみがあります。ジリジリ照りつける日射しの中、汗を拭く事も忘れて、草取りや作物への水やりなどに取りくむ子どもたちは、近くの民家の人達とも親しく言葉を交

## ● お別れ会



● プール遊びが一番人気



わし、時々果物などのオヤツをいただくこともあります。自然に溶け込み、細やかな作物作りに精を出して、僅かではあるけれどピカピカのナスやキュウリを収穫すると、子どもたちの中の満足感や喜びが、キラキラ輝くような笑顔となってはね返ってきます。更に、学園へ持ち帰ってそのまま試食したり、厨房で献立に取り入れてもらったりすると、充実した幸せな気分が、子どもたちだけでなく、職員の間にも広がります。

みんなの顔が真黒に日焼けし、白い歯がこぼれる夏、学園で一番健康的な季節です。

## 意外な力を 発見する季節

激しい夏の日射しがいつの間にか穏やかな日射しにかわり、少しずつ色づき始めた山々にふと気づく頃、学園にも秋の風が吹き始めます。

子どもたちの顔から、真夏の日焼けがすっかり消え、生活の中に落ちつきが戻ってくると、学園の大きな行事である親子遠足、文化祭の準備が本格的に始まります。

親子遠足は、子どもたちが最も楽しみにしている行事で、一泊旅行の年などは、早くから行き先や過ごし方について話を盛り上げ、

### ●親子一泊旅行での宴会



それぞれの計画を練っているようです。日頃職員を、父とも母とも兄とも姉とも思って慕ってくれる子どもたちですが、こういう行事の時になると、やはり本当の家族にはかなわないなと感じさせられ、少し淋しい思いをします。

もう一つの大行事である文化祭は、特に早くからの準備が必要です。展示作品作りにしても舞台発表練習にしても、できるだけ子どもたち一人ひとりの個性が活かされるよう、練習に練習を重ねる中で何回も検討されます。始めはなかなか雰囲気乗らず、興味半分だったり、嫌々ながらだったりしますが、日に日に子どもたちの表情にも真剣味が出てきて、最終的には、職員の期待を遙かに上回る仕上りを見せてくれます。

秋は、楽しくもあり辛くもあり、秘められた意外な力を発見する季節です。

## 人の温かさを 強く感じる季節

夕方からチラホラ舞い出した雪が、夜の間中舞い続け、学園全体をすっぽり包み込んでしまうと、いよいよ本格的な冬の到来です。

いつもは寝覚めが悪く、布団の中からもなかなか出てこようとならない子どもたちが、歓声を上げながら一斉に飛び起きてきます。年々雪の量も減ってきて、職員にとっては過ごしやすい冬であり、いろんな面で助かるのですが、やはり子どもたちにとっては、味のないおかずのようなもので、胸をときめかせる雪は、冬の季節に絶対欠かせないものようです。

何年か前までは、園庭にかまくらを作って、その中でお餅を食べたり、砦を二つ作って雪合戦をし



### ●ボランティアともちつき大会

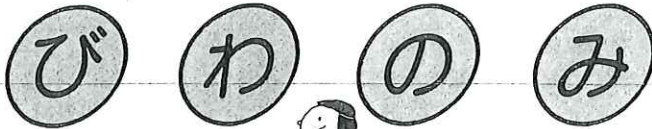
たり、大きな滑り台を作って、スノーボードで滑ったり…と、みんな顔や手を真赤にしながら、夢中で遊んだものですが、近年はそういう楽しみも、なかなか味わうことができません。

さて、雪遊びのできない子どもたちにとって、クリスマスのサンタさんや、お正月の餅つきは、今のところ最高の楽しみようです。年の暮れという事もあって、各市町村などからの慰問、関西電力のお兄さんお姉さんとの交流など、地域の人たちの温かさを一番強く感じる時節です。

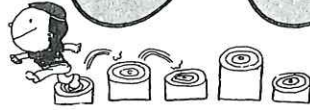
年が明け、お正月の間家庭のぬくもりを感じて、心の充電をしていた子どもたちが帰園してくると、職員にも新たな力が沸き上がってきます。

四季それぞれの子どもの様子を綴ってきましたが、ここに掲載した事は、ほんの一部に過ぎないことです。

学園の四季は、学園の中だけで移り変っていくものではなく、恵まれた自然と、理解ある地域の人達との交流の中で、それぞれの特徴をはっきりさせながら、移り変っていくものです。自然に溶け込んで明るく伸びやかに育つ子どもたちを、これからも応援して下さい。



大島保育所



## 歯みがきゴシゴシ

### 歯も大きく成長する時代

昼食が終わった子から歯ブラシ片手に歯みがき開始です。鏡の前でゴシゴシゴシゴシ。保育所では、1才前後の桃組から歯みがきをしています。とにかく口の中へ入れ自分で楽しんで歯ブラシを動かし歯茎を刺激することから始めます。その後、3才前後まで素みがきを

続け、しっかり磨くことができるまで保育がもう一度磨き残しはないか見えています。

3才前後になると急に虫歯ができてきます。おかしなどよく食べるようになるからだと思います。また5・6才になると早い子は、歯がはえかわってきます。このように保育所時代に歯も大きく成長し変化します。

子どもの成長にとっても大切な歯。虫歯にならないようしっかりと歯みがきをし、食べた磨くという習慣を身につけさせたいと思っています。「ごちそうさま」のあとは、歯みがきゴシゴシゴシ。



## 花より団子？ お花見

4月9日 大島福祉学園へお花見に出かけました。

花曇りの空模様を気にしながらのお花見となりましたが、おすしやお団子をパクパクと食べている姿は、「花より団子」そのものでした。そのあとカラオケやお遊戯で楽しみました。

ちょっぴり恥ずかしがり屋さんたちも御飯を食べ終わる頃になると本領発揮。ブランコに乗ったり追いかけてっこをしたり…とはしゃいでいました。最後にお礼を言って学園をあとにしましたが、自分のお団子だけでなくあまったお団子もポケットにそっと入れてくるちゃっかり者もいました。



## 一通の手紙①

### 一瀬喜代子さん

高浜町出身

沢山のおばちゃんお元気ですか。小さい頃に服をぬって下さ

ったり、いつもお心にかけていただきありがとうございます。

体育大会や学園祭りに来ていただいたり、前かけやぞうきんを作っていただいたり、大変うれしく思っています。

自動車の電気部品の組立、箸箱・菓子箱の成形と花だんの仕事をしています。

いつも高浜のことが気になっています。が、高浜病院へ行っても知らない人ばかりでさびしいです。町の様子など知らせてほしいです。さようなら。

### 沢山和子さん

高浜町ボランティア

先日は思いがけない喜代ちゃんのお手紙をいただき、うれし

く拝見しました。私も元気で毎日を忙しく致して居ります。

今年も城山公園の桜がとても美しく咲きました。ボンボリやチョウチンが何百も灯り、御酒をのみながらカラオケを歌うグループが目立ちました。歌の上手な喜代ちゃんに見せてあげたいです。今は、三色のツツジが美しく咲いています。

運動会は、何日にありますか。私も皆さんと共に走ったり、ゲームをしたいですね。身体に気を付けてお仕事やカラオケに頑張ってください。 和子



# 海とぼくらと

精神薄弱者 大島福祉学園  
更生施設

## 生命を守るために 身体・心の健康管理

健康の定義はWHO憲章にある「健康は身体的にも精神的にも社会的にも完全に良好な状態をいって単に病気がないとか病弱でないということではない」とあります。学園でもまず身体の健康、心の健康を第一とし、少しでも社会参加をという目標をもっています。

身体の健康面では、日常の健康管理を重視していますが、ほとんどの園生さんがうまく体調の変化を訴えられないため、毎日の日課のなかで動きや顔色、食欲、表情などをできるだけ多くのかかわる

時間のなかで観察し、身体測定や毎月の血圧測定、体重測定も参考にしながら行っています。また、年間計画としても、内科検診、歯科検診、レントゲン、血液検査などの成人病検診、精神科検診も行っています。

精神面では、精神不調を身体不調にかえて訴える場合も多く、そのようなときは、まずその人の立場を尊重し、すべてを受け入れ共感することを基本に、会話などを通じて精神の安定を図っています。ところで、当学園も年々、高齢



●毎月の血圧・体重測定

化しており、基礎体力の減退などみられるようになりました。体力テストを行い老化度のチェックをしながら、日課のなかに体力作りの時間を取り入れ、少しでも維持していけるよう努めています。

今後、高齢化とともに、いろいろな問題がおこってくると予想されます。それに対して、私たちは日常の健康管理、疾病に対する早期発見に心がけ生活環境の整備などで、これからも園生さんの生命を守るために努めていきたいです。

(山崎晴栄)

## 私の療育日誌 第6回すずらん

4月1日 新しい居室発表が行われた。「今年度もよろしくお願ひします」とあいさつすると、和子さん、由貴子さん、綾子さん笑顔で答えてくれる。

4月5日 毎週日曜日、和子さんはトイレ清掃の日、どこの清掃よりも得意で、今日も汗だくになりながら頑張る。やり出すと夢中になるのが和子さんの良い所です。

4月9日 自治会役員選出で、綾

子さん新聞係になる。学園での新聞記者です。少々照れくさそうにしていたが、頑張ってください。

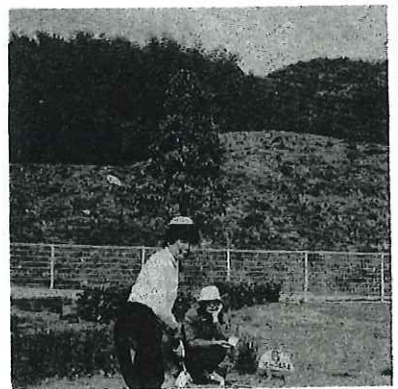
4月10日 いつも元気な由貴子さん、今日は風邪気味。母親に会いたくなったのか夕食後外出着になりバックを持ち、私を待っていた。

4月16日 絶好のハイキング日和、和子さんは農耕班で小浜公園へ出かける。日焼けした顔で帰ってくる。「えらかったよ」と一言。

4月27日 今日を楽しみにしていた綾子さん、陶芸班で舞鶴へ出かける。初めてパターゴルフをした感想を聞くと、「すごい!最高」と目を輝かせて言っていた。

4月28日 午前中、避難訓練を行う。ベルが鳴り出すと、由貴子さん少し驚いた様子であったが、おちついて避難できた。

(すずらん担当 福田佐由理)





## くるまです少し前進!

## 友愛園あれこれpart 23

## 桜満開城山公園

## 二人の退園

「会うは別れの初めなり」ということばもありますが、友愛園においても、この春、二人が退園されました。

二人の出身が嶺北地方ということもあり、本人及び家族の希望で、開所間もない『金津サンホーム』へ移って行かれました。故郷へ帰るような気持ちや、真新しい建物での生活が待っていることで、悲しみよりも喜びの方が大きいようでした。

ここで、二人の紹介をします。橋本末子さん。とても働き者でしっかりとしたおかみさんというイメージの人でした。職員へ「手伝おか」とにこやかな笑顔を見せながら、洗濯物たたみ、廊下掃除

とせっせと動いていました。本当によく気の付く人でした。



もう一人の長畑哲夫さんは、ほとんど寝たきりに近い状態でしたが、「自分」

というものをきちんと持っておられました。神仏を信心しているという事が、その人の生命力に張りを持たせるのだなと改めて教えてくれた人でした。退園する時に、お姉さんが「こんなに弟の事を理解し、見守ってくれた園に感謝します」と、手を合わせられていたのが印象に残っています。

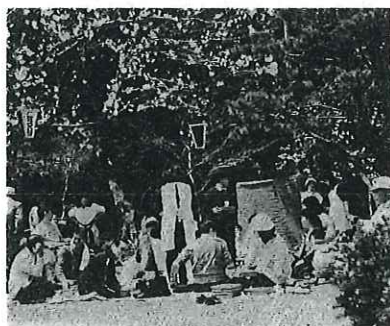
縁あって知り合った皆さんと、毎日穏やかな日々を送りたいと思うこの頃です。



4月6日～12日の一週間は、お花見ウィークでした。入居者を6班に分け、毎日ひとつの班が出かけました。

行先の高浜町、城山公園は嶺南地方指折りの桜の名所です。風はまだ少し肌寒く感じられましたが、桜はちょうど満開で、芝生の上にお弁当を広げ食事をしたり、散歩したり、楽しく過ごしました。

入居者の中には、帰りに高浜名物の源六餅をお土産に買ってくる人もあるなど、この一週間はお花見の話題が絶えることがなく、はなやいだ雰囲気にもまれていました。



## 20才のアイドル

## 三谷郁代さん

昨年の12月に南川福祉学園から引越してきたニューフェイスさんです。また、年齢も20才と園では一番若く、いわゆるアイドル系の素質十分です。現にかわいい職種で寮母たちともすぐに仲良しにな

りました。スキンシップというか、一対一でいることが好きで、よくギッタンバッタンをおねだりして、してもらっています。そして、手にはいつも愛用している物を持っているのですが、きっと好きなのだろうし、それで落ち着けるのでしょうね。

関わりを深めていく中で、彼女の思いをできるだけ汲み取れるようにしたいという願いを持ってい

ます。新たな出発、一緒に頑張りましょう。





# キリンさんからのメッセージ

精神薄弱児施設 南川福祉学園

## 卒業を祝う会

— 新たな出発に向けて —

例年ない穏やかな小春日和に恵まれた3月13日(金)、嶺南養護学校小浜分校の卒業式が行われ、学園の味元ひろみさん(小学部)、永田敏君、岡本佳洋君、塚本昇君、川崎美篤さん、広瀬典子さん(中学部)が無事卒業しました。

同日午後、学園では卒業を祝う会が盛大に開かれ、卒業生の、式での緊張をときほぐしました。

すっかり大人っぽくなった味元さんは、小学部の制服が小さく見えたが、中学生になることへの夢は大きくふくらんでいました。

満面の笑みが印象的だった岡本君、茶目っ気たっぷりの川崎さん、

卒業生の中で一番体格のりっぱな塚本君の3名は、4月から学園の療育班や作業班にそれぞれ所属しますが、一人一人の個性が活かされた訓練、諸活動が計画されており、より一層の成長が期待されます。

卒業生の中で唯一人高等部へ進



### 面会日(1号室)

### 魔法の時間

お昼休みも終り、各居室で待つ家族に逢いに走る子どもたち。いつもと違う笑い声、何とも言えな



いとびっきりの笑顔。今日は待ちに待った面会日です。

部屋に入るなり、それぞれの親の元へ…。

「元気やった?」「うん!」

「訓練、頑張ってるか?」

「頑張ってるよ」

「新しい部屋に慣れた?」

「とっても楽しいよ」

いろんな会話が広がります。お父さんお母さんが持ってきて下さったおやつを囲んでの団欒。食べ慣れたスナック菓子もキャンディもひと味違うようです。

月に一度の面会日。もしかしたら、子どもたちにとって魔法の時間なのかもしれませんね。

学する広瀬さんと、三方の重度心身障害児施設へ入所する永田君は、既に学園退所が決まっており、喜びの表情の中にちょっぴり淋しさも窺えましたが、今後の活躍と健康をみんなで祈りました。



君にエールを

### 勤勉な悦子さん

中学卒業後学園を退所し、以来9年間、小浜市内にあるクリーニング店に勤めている寺本悦子さんを、その職場に訪ねました。

久しぶりに逢う悦子さんは、24才という年令にふさわしい大人の雰囲気を漂わせ、礼儀正しい言葉遣いで私を迎えてくれました。よほど悪天候でない限り、自転車で通勤している事、一日中立ち詰めの仕事はかなり疲れるけれど、辞めようと思った事は一度もない事、仕事帰りに買い物をして自炊している事などを聞き、予想以上の頑張りに感動させられました。帰り際、「恋人は?」と聞くと「まだ…」その大きくはにかんだ眩しい笑顔に、9年の時の流れを感じ、胸が熱くなりました。悦子さん、これからも頑張ってください。





(1月～4月)

## ◆友愛会

✦寄付

寄付金…暁産業株式会社  
〃…福井銀行役職員一同

## ◆大島福祉学園

✦奉仕・交流

高浜町モラロジー婦人部

✦寄付

お菓子…辻本靖子  
備品…(株)栗原産業大飯作業所  
寄付金…砂尾石栄

## ◆友愛園

✦奉仕・交流

中名田冠句会・岩本エイ・田茂  
谷地区老人会・猿橋統流子・若  
狭地区冠句会・荒木久美子・買  
物ボランティア

## コレクトルーム



## ボランティア活動

自由な意志による自発性に支えられた実践行為そのものであり、福祉社会づくりに積極的に取り組んでいく日常活動です。いわば地域社会づくりに向けて、より住みやすい明るい生活を相互に連帯しながら築きあげていく絶えまない活動のことです。

✦寄付

みかん…山口・山本・米村・松下・島田・柴田・三谷  
・田中・井上・斉川  
お菓子…勝呂・島邑・山本・亀元  
ジュース・お酒  
…福島・寺下・小島・牧井

活動の場は、児童から老人に至る各福祉施設や機関、地域社会での生活課題を克服するためのもの、福祉社会をつくりあげるためのものなど広域にわたっています。

活動形態も個人からグループ、組織団体によるもの、個別的訪問活動や看護などの家族に対する支援活動などバラエティに富んだ活動展開がなされています。

私たちの施設も多くのボランティアのみなさんに支えられています。

## ◆南川福祉学園

✦寄付

エプロン…泉本弘子  
日用品…国際ソロプチミスト  
若狭

(敬称を略させていただきます)

ありがとう

ございました!!

でんごんぼん

大江治子、岡本恵子、石野知美  
(南川福祉学園) …4月1日付  
(敬称略)

## ♥南川福祉学園から

来る6月14日(日)に当園園庭におきまして、体育大会を開催いたします。多くの方々のご来園をお待ちしております。

## ♥編集部から

今回より新たに「一通の手紙」と題して、施設を利用している人とボランティアの人や地域の人などとの手紙の交換を紹介します。何気ない一通の手紙から心のふれあいが伝えられればと、思います。

また、福祉用語などの説明も、簡単にお伝えするコーナーも掲載していきたいと思っております。

## 編集後記

春風若葉かおるこの頃、各施設とも今年のねらいに向かい、始動いたしました。

「海清」第24号をお届けします。愛護全国大会のことばかり、利用者の方の生活を考えた場合、どこまでが指導の範囲なのか悩みます。安全を考えると拘束が多くなり、権利に重きを置くと義務が軽視されます。形式に偏ると情愛が薄らいでしまいます。大事なことは「自由」と「わがまま」をはき違えないこと。「自由」には必ず規制や制限があるのです。

今こそ発想を転換していかなくはては何もできないと言えます。

(谷口)

## ♥退職

次の方々退職されました。ごろうさまでした。

田辺直宏、田中百合子(南川福祉学園) …昨年12月31日付

藤原順子(大島保育所) …3月31日付

## ♥採用

新しく次の方々採用されました。よろしく願いいたします。

島中雅代(大島保育所)、藤田美紀(大島福祉学園)、見越一弘、森下紀子、宮川美帆(友愛園)、